

RADIO TERMINAL EQUIPMENT

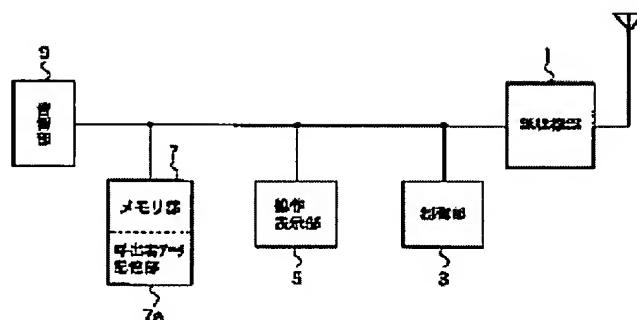
Patent number: JP2000106685
Publication date: 2000-04-11
Inventor: MOCHIDA MINAMI; ODATE HITOSHI
Applicant: NTT MOBIL COMMUNICATION NETWORK INC
Classification:
 - international: H04Q7/14; H04Q7/38
 - european:
Application number: JP19980273797 19980928
Priority number(s):

Abstract of JP2000106685

PROBLEM TO BE SOLVED: To output a desired ring back tone or melody by receiving data corresponding to the ring back tone or melody to be transmitted by a prescribed radio channel, storing these data in a memory means and outputting these stored data as the ring back tone or melody at call incoming.

SOLUTION: When its own calling number is received by a call control channel, radio terminal equipment detects an identification bit which is added to this number, and when this bit is turned off, it is ordinary call incoming.

Then, a response signal is returned as normal, and data for ring back tone or melody stored in a ring back tone data storage part 7a are read out and generated by an acoustic part 9, so that call incoming is reported by the generated ring back tone or melody. When the identification bit is turned on, the ring back tone or melody tone is not sounded but the control channel or speech channel is utilized as it is, and the data for reloading the ring back tone or melody tone are received and stored in the ring back tone data storage part 7a.



Data supplied from the esp@cenet database - Patent Abstracts of Japan

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-106685

(P2000-106685A)

(43) 公開日 平成12年4月11日 (2000.4.11)

(51) Int.Cl.

H 0 4 Q 7/14
7/38

識別記号

F I

H 0 4 B 7/26

テーマコード (参考)

1 0 3 E 5 K 0 6 7
1 0 9 T

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平10-273797

(22) 出願日 平成10年9月28日 (1998.9.28)

(71) 出願人 392026693

エヌ・ティ・ティ移動通信網株式会社
東京都港区虎ノ門二丁目10番1号

(72) 発明者 持田 美波

東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 エヌ・
ティ・ティ移動通信網株式会社内

(72) 発明者 大館 均

東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 エヌ・
ティ・ティ移動通信網株式会社内

(74) 代理人 100083806

弁理士 三好 秀和 (外3名)

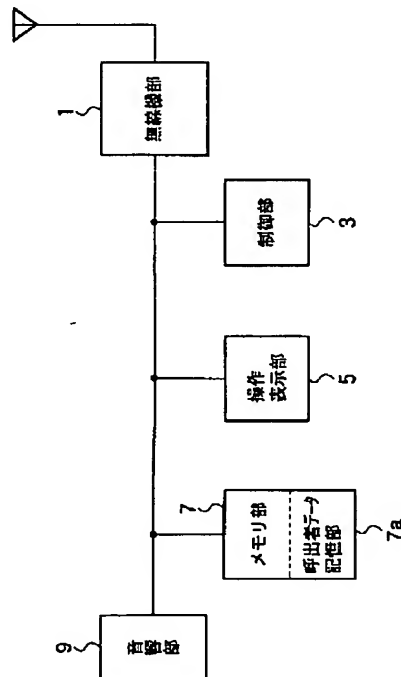
Fターム (参考) 5K067 AA34 BB04 BB22 DD13 DD27
DD51 EE02 EE10 FF13 FF25
FF27 FF31 HH23 HH24 KK15

(54) 【発明の名称】 無線端末装置

(57) 【要約】

【課題】 呼出音またはメロディを簡単に書き換えることができる無線端末装置を提供する。

【解決手段】 所定の無線チャネルで送信される呼出音またはメロディに対応するデータを受信して呼出音データ記憶部7aに蓄積しておき、この蓄積されたデータから呼出音またはメロディを生成し、この呼出音またはメロディを着信時に出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 移動通信方式における無線呼出用または携帯電話用の無線端末装置であって、所定の無線チャンネルで送信される呼出音またはメロディに対応するデータを受信する受信手段と、該受信手段で受信した前記データを蓄積するメモリ手段と、該メモリ手段に蓄積された前記データを着信時に呼出音またはメロディとして出力する出力手段とを有することを特徴とする無線端末装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、移動通信方式における無線呼出または携帯電話用の無線端末装置に関し、更に詳しくは、着信時の呼出音またはメロディを容易に切り換えることができる無線端末装置に関する。

【0002】

【従来の技術】移動通信方式における従来の無線呼出または携帯電話用の無線端末装置においては、呼出音は例えばブザーの鳴動音であったり、または予め端末装置にデータとして固定的に記憶された複数の呼出音またはメロディから選択された呼出音またはメロディであったり、または無線端末装置にコンピュータ等の外部装置を接続し、この外部装置からメロディ用のデータを無線端末装置に書き込み、この書き込まれたデータからメロディを生成して送出するというものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述したように、従来の無線端末装置における呼出音はブザーの鳴動音であったり、または予め固定的に記憶されている呼出音またはメロディであったり、または外部装置を使用してデータを書き込み、このデータから生成されるメロディであったりするため、外部装置を使用しない場合には、固定的な呼出音またはメロディであって、新たな呼出音またはメロディを生成することが不可能であり、また新たな呼出音またはメロディを書き込むためには外部装置を必要とするという問題がある。

【0004】本発明は、上記に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、呼出音またはメロディを簡単に書き換えることができる無線端末装置を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1記載の本発明は、移動通信方式における無線呼出用または携帯電話用の無線端末装置であって、所定の無線チャンネルで送信される呼出音またはメロディに対応するデータを受信する受信手段と、該受信手段で受信した前記データを蓄積するメモリ手段と、該メモリ手段に蓄積された前記データを着信時に呼出音またはメロディとして出力する出力手段とを有することを要旨とする。

【0006】請求項1記載の本発明にあつては、所定の無線チャンネルで送信される呼出音またはメロディに対応するデータを受信してメモリ手段に蓄積しておき、この蓄積されたデータを着信時に呼出音またはメロディとして出力するため、呼出音またはメロディ用のデータを無線チャンネルを介して容易に書き換えたりまたは蓄積しておくことができ、所望の呼出音またはメロディを出力することができる。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、図面を用いて本発明の実施の形態について説明する。図1は、本発明の一実施形態に係る無線端末装置の構成を示すブロック図である。同図に示す無線端末装置は、一例として移動通信方式における携帯電話用の端末装置を構成しているものであるが、本発明の無線端末装置は携帯電話用の端末装置に限られるものでなく、無線呼出用の端末装置などにも適用し得るものである。

【0008】図1に示す無線端末装置は、無線信号の送受信および変復調処理などを行う無線機部1、本無線端末装置の全体の動作およびネットワークとの制御信号の送受信を制御する制御部3、ダイヤル番号等の情報を入力するとともに、情報を表示する操作表示部5、本無線端末装置の動作制御用のソフトウェアおよびダイヤル番号等の情報を記憶するとともに、呼出音またはメロディ用のデータを記憶する呼出音データ記憶部7aを有するメモリ部7、および呼出音データ記憶部7aに記憶された呼出音またはメロディ用のデータから呼出音またはメロディを生成して出力するスピーカ等を有するとともに、またマイク等も有する音響部9から構成されている。

【0009】このように構成される無線端末装置は、通話を行っていない待ち受け状態においては自分が呼び出されることを待ち受けている。無線端末装置は、呼出制御チャンネルに自分の呼出信号（番号）を受信すると、該呼出信号に付加されている識別ビットを検出し、この識別ビットがオンであるかまたはオフであるかを識別する。識別ビットがオフの場合は、通常の着信であり、通常通り応答信号を返送し、通話のための制御を行うとともに、呼出音データ記憶部7aに記憶されている呼出音またはメロディ用のデータを読み出し、この読み出したデータから呼出音またはメロディを音響部9で生成し、この生成した呼出音またはメロディで着信を通知するが、識別ビットがオンの場合には、呼出音またはメロディ音は鳴らさず、制御チャンネルのまま又は通話チャンネルを利用し、呼出音またはメロディ音の書換えのためのデータを受信し、この受信したデータを呼出音データ記憶部7aに記憶する。

【0010】すなわち、本実施形態においては、呼出信号に識別ビットが付加され、これにより呼出音またはメロディの書換えの有無を通知している。具体的には、呼

出信号に付加されている識別ビットがオフの場合には、呼出音またはメロディの書換えはなく、通常の着信であるが、識別ビットがオンの場合には、呼出音またはメロディ用のデータの書換えであり、呼出音またはメロディは鳴らさず、この呼出音またはメロディ用のデータを制御チャネルのまま又は通話チャネルを利用して受信し、この受信したデータを呼出音データ記憶部7aに記憶する。

【0011】このように呼出音データ記憶部7aに記憶された呼出音またはメロディ用のデータは、使用者によって所望の呼出音またはメロディが選択され、この選択されたデータが着信時に呼出音データ記憶部7aから読み出され、音響部9から所望の呼出音またはメロディとして出力される。

【0012】また、呼出音またはメロディ用に新たなデータが受信され、呼出音データ記憶部7aに記憶された場合には、この新たなデータが自動的に読み出され、新たな呼出音またはメロディとして自動的に出力されるようにすることも可能である。

【0013】本実施形態の1つの運用方法として、ネットワークに予め定められる電話番号に1つまたは複数の呼出音またはメロディのデータベースを設け、端末使用者が該データベースに接続し、視聴した後にダイヤル信号を送信してデータ要求を行う。ネットワークは該データ要求信号を受信すると、この要求された呼出音またはメロディのデータを返信する。無線端末装置は、この返信されてくるデータを受信し、呼出音データ記憶部7aに蓄積する。なお、この運用方法における無線呼出の場合は、端末使用者は電話によって前記データベースに接続し、当該端末番号と呼出音またはメロディの要求を行

う。ネットワークは当該無線呼出に対して無線端末装置にデータ送信を行う。無線端末装置はこのデータを受信し、呼出音データ記憶部7aに蓄積する。

【0014】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、所定の無線チャネルで送信される呼出音またはメロディに対応するデータを受信してメモリ手段に蓄積しておき、この蓄積されたデータを着信時に呼出音またはメロディとして出力するので、呼出音またはメロディ用のデータを無線チャネルを介して容易に書き換えたりまたは蓄積しておくことができ、所望の呼出音またはメロディを出力することができる。特に、本発明は多数の音楽をデータベース化して利用者に提供するサービス、または特定の歌手の新曲を提供し、自動的に呼出用メロディを更新するサービス、定期的にヒット商品を提供するサービス等に有効である。具体的には、例えば人気歌手のポケットベル等の呼出音を常に新曲に更新し、着信時のこの新曲を呼出音として出力する等のサービスを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態に係る無線端末装置の構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 1 無線機部
- 3 制御部
- 5 操作表示部
- 7 メモリ部
- 7a 呼出音データ記憶部
- 9 音響部

【図1】

